

ご自由にご覧ください

みちの井戸端会議



「調布市道路網計画」で計画検討路線として位置付けた
「調布都市計画道路3・4・30号調布駅深大寺線」について
ご意見をお聴かせください。

はじめに

日ごろから、市政にご理解とご協力をいただき、
ありがとうございます。

今回のみちの井戸端会議は、「調布市道路網計画」で計画検討路線に位置付けた「調布都市計画道路3・4・30号調布駅深大寺線」(以下「調布3・4・30号線」という。)の道路構造案を評価する
うえで留意すべき視点について、皆さまのご意見をお聴きすることを目的に実施するものです。



「調布市道路網計画」とは

- 調布市道路網計画(平成28年3月策定)は、都市計画道路を対象とした「**広域道路網計画**」と、生活道路を対象とした「**地区内道路網計画**」により構成しています。
- それぞれの計画に、調布市の将来都市像の実現に必要な「**目指すべき道路網**」、整備の優先度を明示した「**道路整備プログラム**」を設定しました。
- 「**広域道路整備プログラム**」については、効率的・効果的に道路整備を進めるため、整備または事業着手を優先的に進める「**優先整備路線**」や、都市計画の内容を改めて検討する必要がある「**計画検討路線**」等を定めています。



▲ 調布市道路網計画
(平成28年3月策定)



▲ 調布市におけるこれからの
みちづくり(平成28年10月発行)



▲ 調布市道路網計画の進捗状況
(令和6年3月改訂)

「調布3・4・30号線」とは

- 調布3・4・30号線は、**昭和37年(1962年)に計画決定**された都市計画道路です。

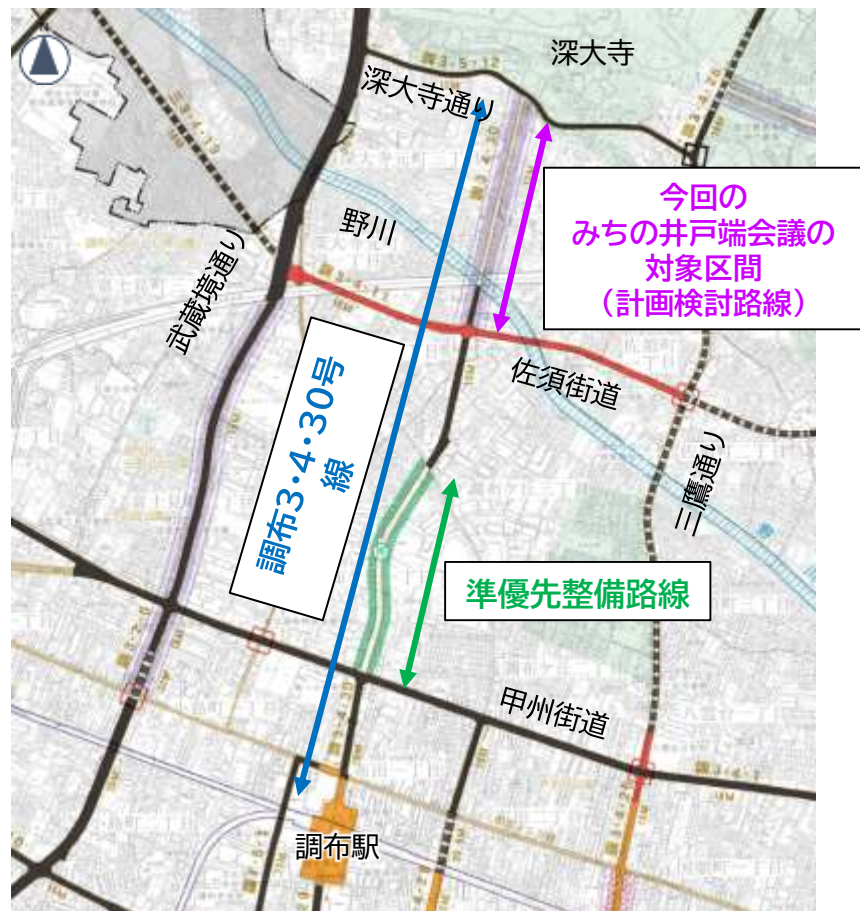


図 調布3・4・30号線 位置図

調布3・4・30号線の計画概要

名 称:調布都市計画道路3・4・30号調布駅深大寺線
起 点:布田一丁目
終 点:深大寺元町三丁目
延長約:1,670m
調布駅～佐須街道:1,120m(計画幅員16m)
佐須街道～深大寺通り:550m(計画幅員12m)
車線数:2車線

今回のみちの井戸端会議の対象区間 (計画検討路線)

佐須街道から深大寺通りまでの延長:約550m

※当該区間は崖線上下の地区の接続など地形的条件を考慮しながら、道路構造や整備手法について具体的な検討を進めることが必要となっています。

今回のみちの井戸端会議では、この区間について、皆さまのご意見をお聴かせ下さい。

調布3・4・30号線の検討の背景

①調布駅周辺に新たなにぎわいが創出

市は、調布駅前広場の令和7年度完成(一部を除く)に向けて整備を進めています。また、調布駅周辺には、複合商業施設がオープンし、市内外から多くの方が調布のまちを訪れ、新たなにぎわいが創出されています。

そのため、調布駅と深大寺を結ぶ調布3・4・30号線の役割が重要になってきます。

②激甚化する災害への対応

近年の大規模地震、豪雨災害など災害の激甚化・頻発化を背景に、災害に対する警戒感が高まっており、防災に寄与する調布3・4・30号線の検討が必要です。

③「調布市道路網計画」の改定に向けた検討

現在実施している「調布市道路網計画(平成28年3月策定)」の改定に向けた検討の内容を踏まえ、計画検討路線に位置付けている調布3・4・30号線についても、検討を進める必要があります。

令和6年11月 みちの井戸端会議の結果概要①

- 調布3・4・30号線の検討状況等についてパネルを用いて説明し、路線周辺の交通環境の課題等についてご意見を伺うため、みちの井戸端会議を開催しました。

【みちの井戸端会議】

開催会場	開催日時		来訪者数
深大寺駐輪場	11月15日(金)	午後1時から午後3時まで	23
	11月16日(土)	午前10時から正午まで	45
合計			68



令和6年11月に開催したみちの井戸端会議の様子

令和6年11月 みちの井戸端会議の結果概要②

- ・調布3・4・30号線周辺の交通環境の課題や、調布3・4・30号線に対する期待や不安などをお聴きしました。内容としては、主に**道路交通**、**環境**、**景観**、**防災**、**住環境**についてでした。

地域周辺で気になっていること

<道路交通について>

- ・道が狭く車のすれ違いができない。
- ・通学路のため児童の通行が多い。

<環境について>

- ・緑、湧水など環境がよい。
- ・深大寺ににぎわいがある。

<景観について>

- ・緑が多い。
- ・史跡がある。

<防災について>

- ・火災時など防災面では不安がある。

<住環境について>

- ・観光客の騒音が気になる。
- ・観光バスが多い。

道路整備に対する不安

<道路交通について>

- ・通り抜けの車が増えるのではないか。
- ・車の速度増加を懸念する。
- ・高低差処理はどうなるのか疑問。

道路整備に対する期待

<道路交通について>

- ・歩行者が安全に歩ける道路にしてほしい。
- ・調布駅から深大寺へのアクセス路線ができるのはよい。

<環境について>

- ・深大寺の自然環境を残してほしい。

<景観について>

- ・深大寺の街並みにあった整備をしてほしい。

<防災について>

- ・防災機能強化は必要である。

<環境について>

- ・緑や湧水は維持できるのか心配。

<景観について>

- ・深大寺の街並みにあった整備をしてほしい。

<住環境について>

- ・工事中や整備後の交通量増加による騒音を懸念。

<その他>

- ・幅員12mは必要なのか疑問。

調布3・4・30号線のみちづくりの方向性

- ・ 調布3・4・30号線の位置付け, 周辺の現状や課題, これまでいただいたご意見を踏まえ, 以下のとおり, みちづくりの方向性を整理しました。

①調布駅と深大寺のアクセスを強化(歩行者や地域住民のための道路)

歩行者や地域住民の利便性・安全性の向上と, 調布駅と深大寺間のアクセス強化を図ります。

②激甚化する災害への備え

本路線周辺は, 土砂災害や浸水リスクの恐れがあるため, 近年激甚化・頻発化する災害に備え, 避難路の確保や救急活動の円滑化を図ります。

③「緑の連結軸」の形成

本路線は, 都市計画マスタープランにおいて位置付けた, 水と緑の拠点や中心市街地を結ぶ「緑の連結軸」を形成します。

④地域特性を活かしたみちづくり

武蔵野の自然が残された地域特性を活かし, 景観や自然環境, 住環境に配慮したみちづくりを検討します。

今回の「みちの井戸端会議」でお聴きしたいこと

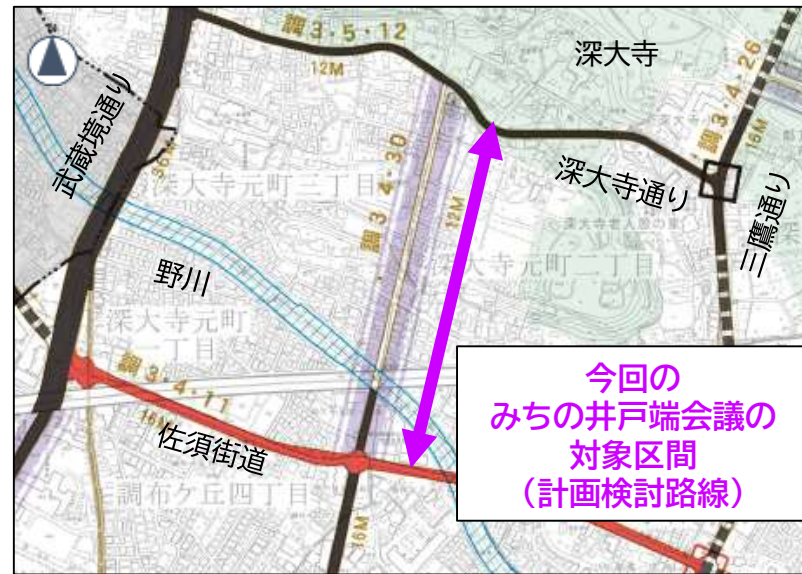


図 調布3・4・30号線 位置図

道路構造で留意すべき視点について、ご意見をお聴かせください。

計画検討路線に選定した特別な事由である「崖線上下の地区の接続など地形的条件を考慮した道路構造」について、3つの案を検討しました。

今後、市の方針案を作成するに当たり、これら道路構造案を評価するうえで留意すべき視点について、皆さまのご意見をお聴かせください。

道路構造と整備手法の案

- 構造形式が成り立つ以下の3案を検討します。 ※図はイメージです。

案1: 高架構造で整備する場合

崖線上下の地区を、**高架(橋梁)構造**などで接続する案



案2: 掘割構造で整備する場合

崖線上下の地区を、**掘割構造**などで接続する案



案3: 現道を一部活用する場合

崖線上下の地区を、**現道を活用し拡幅する**形で接続する案



道路構造や整備手法の案で留意すべき視点

- ・ 前回の「みちの井戸端会議」でいただいた、調布3・4・30号線周辺の交通環境の課題や、調布3・4・30号線に対する期待や不安に関するご意見も踏まえ、道路構造や整備手法の案で留意すべき視点を整理しました。
- ・ これらの視点に、法令への適合など技術的な視点も加味して、調布3・4・30号線のあり方を確認していきます。

前回「みちの井戸端会議」でのご意見を踏まえ整理した留意すべき視点

道路交通

- ・ 走行性
- ・ 安全性
- ・ 歩行環境

防災

- ・ 避難路, 救急車両の走行性
- ・ 構造案による堀や崖への影響

景観

- ・ 景観への影響

環境

- ・ 国分寺崖線への影響
- ・ 特別緑地保全地区への影響
- ・ 湧水への影響

住環境

- ・ 避難路, 救急車両の走行性
- ・ 構造案による堀や崖への影響

今後の検討の進め方(案)

- 道路網として必要性が確認されている中で、前回のみちの井戸端会議でいただいたご意見も踏まえて、調布3・4・30号線のあり方の確認(道路構造の検討)をしています。

【計画検討(市)】

地区の課題の把握
道路の必要性の共有



調布3・4・30号線のあり方確認
道路構造を評価するうえで
留意すべき視点



市の方針(案)の作成



市の方針を公表



事業化に向けた検討
・道路線形等の検討
・都市計画手続き など

※事業化時期は未定です。

【市民参加】

- みちの井戸端会議
(令和6年11月開催)



- みちの井戸端会議
(令和7年10～11月開催)



◀現在はココ

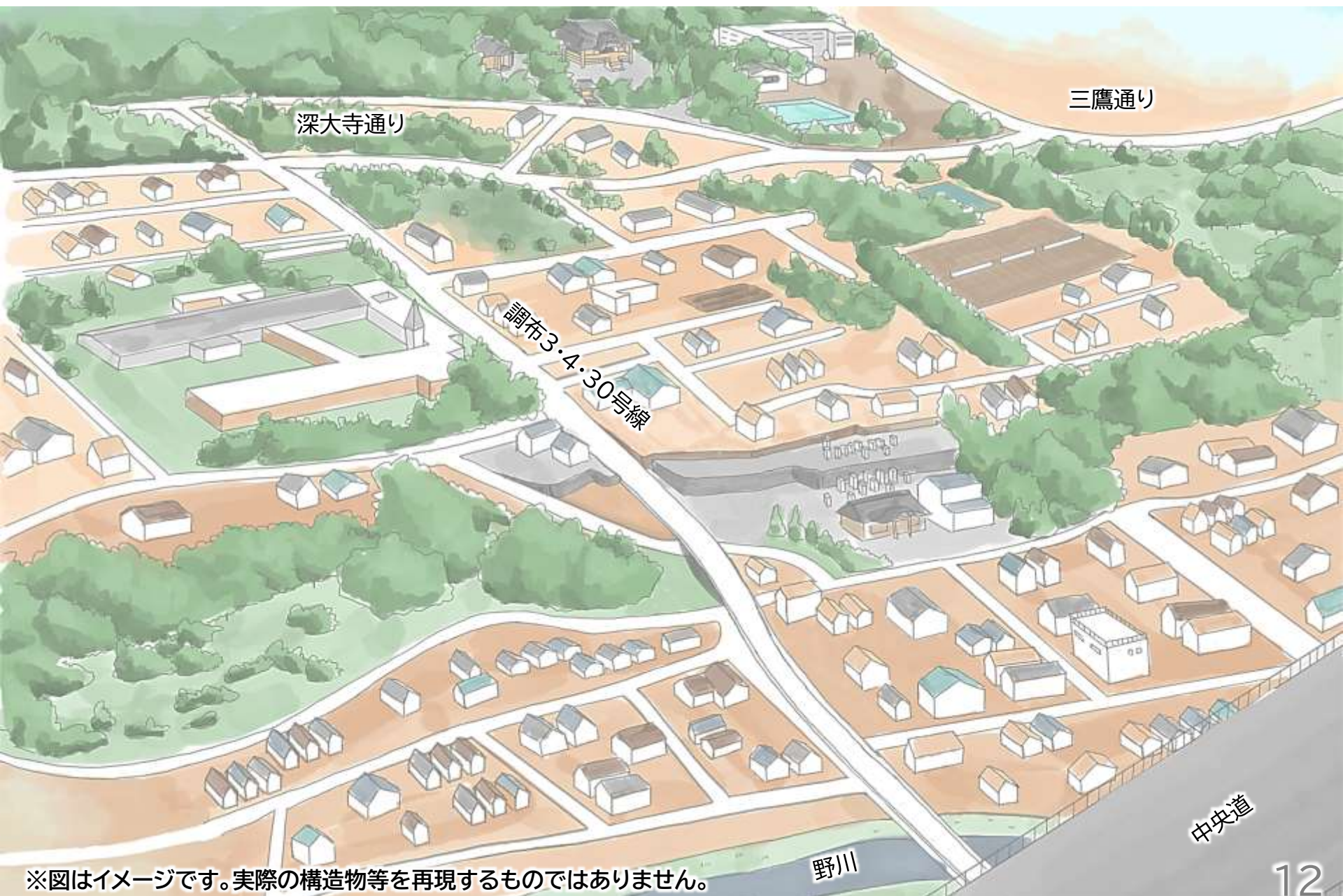
- みちの井戸端会議



- みちの井戸端会議
・説明会 など

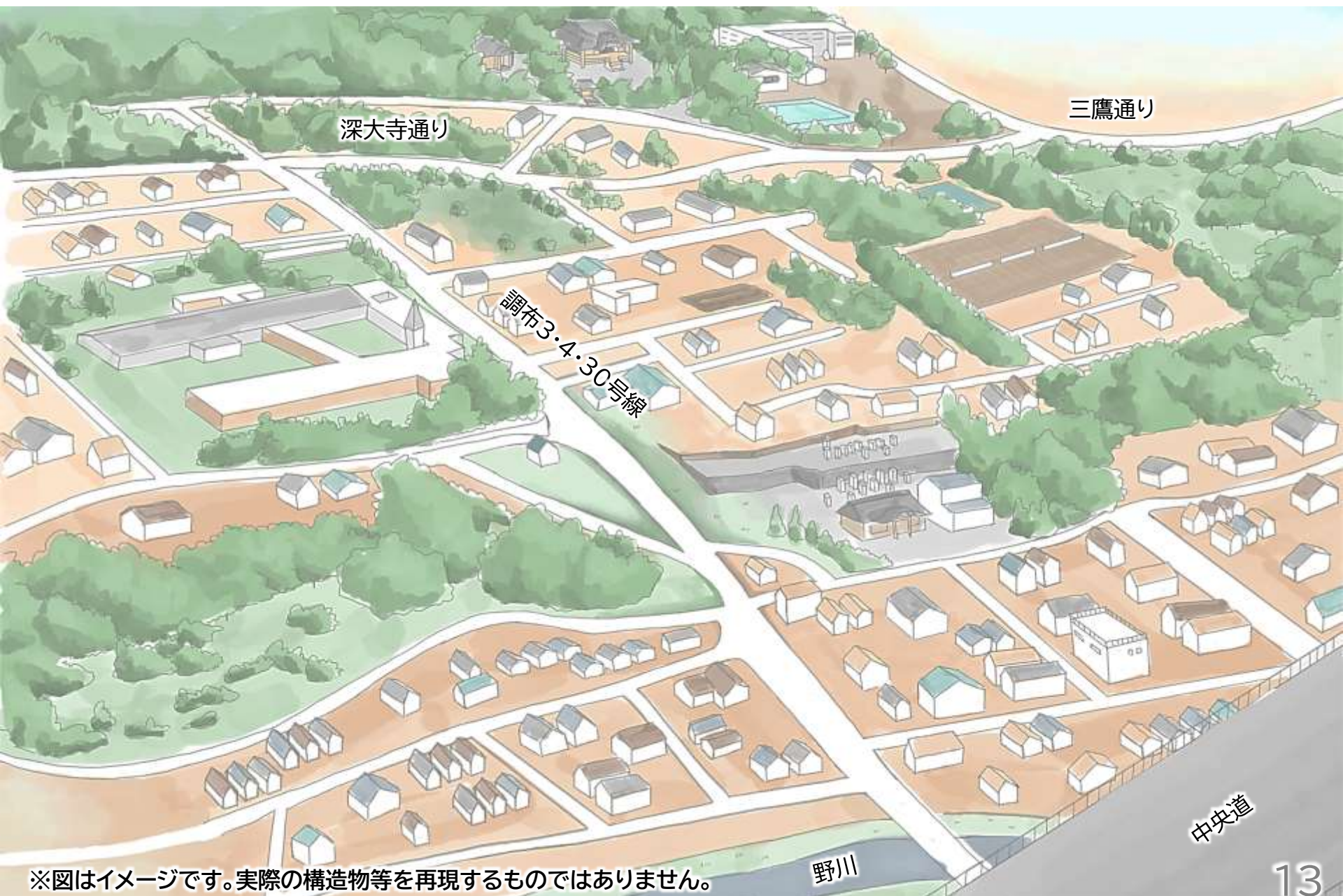


案1:高架構造で整備する場合のイメージ



※図はイメージです。実際の構造物等を再現するものではありません。

案2：掘割構造で整備する場合のイメージ



※図はイメージです。実際の構造物等を再現するものではありません。

案3:現道を一部活用し整備する場合のイメージ

